



幸手市議会議員 本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail
mirai@honda-yoko.com



幸せの手

よいいの一般質問報告

— 平成26年第2回幸手市議会 —

① 市が誘致した日本保健医療大学 開校後、初めての検証

■今までの経緯

平成19年12月20日市議会定例会にて次のことが可決。
☆旧幸手東小学校校舎を無償で譲渡
☆旧幸手東小学校跡地を無償で貸付
☆平成19～25年度までの期間、限度額を5億円として補助
そして平成22年4月開校

大学設置合意書第7条には「大学は、地域と大学を一体的に考え、行政や地域との連携を図るものとする。」となっている。

また、大学設置準備会作成の大学整備計画案目的②においても

「地域と大学とを一体的に考えた新たな地域行政を企画推進いたします。ただ単に地域に大学が進出するだけではなく、欧米方式による地域行政と一体化した大学を行政と共に目指して参ります。」と書かれています。さて、現状はどうなっているのでしょうか。

① 看護師免許取得者数と割合は？

109人中95人の87.2%

② 卒業後、幸手市内で看護師として従事する人数は？

3人

③ 日本保健医療大学及び学生が、幸手市や保健福祉センターや医師会との協力のもとで、行われている事例は？

市民向け講座、健康福祉まつりの実行委員や当日の学生参加、平成25年のこども大学さつての会場や講師として、第5次総合振興計画の審議会委員として。

■私は思う

この現状は市民の期待にそった結果でしょうか。議会可決前出された参考資料の経済的効果の数字は全くかけ離れている。検証するにはまだ早過ぎるかも知れませんが、だからこそ、これからの大学と市の連携には目が離せません。何しろ、当時採決した先輩議員もいらつしやいますので。

■今までの経緯

市内に八つの私立幼稚園があった当時、吉田・八代・権現堂地区には私立幼稚園がなく、保護者の送迎が出来ない場合など、就園しないで入学するという状況にあり、市街地との教育格差をなくす為、昭和54年4月吉田地区に開園。
通園範囲は？
幸手市立幼稚園なので幸手に住所があること。
送迎バスの範囲は？
一台で2コース、八代コースと吉田・権現堂コース。
耐震は？
行っていない。
(園舎は昭和38年の建築物)

②

このままでもいいの？ 幸手市立吉田幼稚園

現在の園児数、職員数、年間の予算は？

園児76人(3地区が54人)、職員12人、予算は幼稚園費の私立関係予算を除き、5892万9000円。

■私は思う

市立吉田幼稚園の当初の目的は充分達し、今ではどこから幼稚園の送迎バスが見られる時代となった。

通園範囲は幸手市全域とはいえ、送迎バスは3地区だけしか回らず、平屋だからか耐震もしていない。今、市立幼稚園に望むことは何か。目先のことはなく、これからのことをしっかりと検討していくべきである。

また、平成22年の教育審議会の最終答申では、「現状を工夫、改善しながら幼稚園を存続」と書かれ、入園料・保育料について、私立幼稚園との格差に鑑み、いつその適正化を図ることや園児定員を概ね105名とする等明記されている。皆さんは、この現状をどう思われますか。私は確実に見直しが必要と考えます。



③「いづもは地域で育つ」 小学校の通学区域の現状は

学校区	区域外へ通う児童数	合計
権現堂川小学校区域 現在児童数 84人	幸手小 — 5人 さかえ小 — 1人 さくら小 — 26人	32人
吉田小学校区域 現在児童数 96人	上高野小 — 1人 さくら小 — 1人	2人
八代小学校区域 現在児童数 102人	権現堂川小 — 6人 さかえ小 — 5人 さくら小 — 52人	63人

25年5月1日現在の26年度予測数

特に目立つのは、権現堂川小学校区の28%、八代小学校区の38%の児童が、地域外の小学校に通学している状況である。

「地域のこどもは地域で育てる」との山西新教育長。

■私は思う

特例等だけでなく、少人数校より：という風潮が出てきているのではないかと。こどもの為にはどちらが良いのか。他には負けない少人数校ならではの良さや特色を期待する。やはり、小学生は地域で育つのが一番。

現在、通学区域のほか弾力的な調整区域があることから、右図のような現象が起きている。

④選挙投票率アップの策は

■現状と分析

平成23年からの6回の選挙で、県平均をすべて上回っているが、昨年の参議院選挙では、若年層の投票率が大変低い。

20～39歳↓33・66%
40歳以上↓57・51%
課題はこの若年層の投票率を上げること。

これから対策として、情報の提供が重要と考え、若年層の啓発もふまえて市のホームページへ選挙公報を掲載。

■私は思う

市民の半分で、大切な市政の舵取りが決まっていのか。まずは市民の権利として選挙に行きましよう。

今回は、期日前投票の駅前におけるバス固定の投票所やインターネットを使った市独自の政見放送のようなものはできないのか質問しました。市でも細かな対策はしているが、もっと大きな対策が早急に必要である。

⑤認知症等の徘徊について市の対応は

防災行政無線で徘徊に関するものは若干増えつつある。市としての対応は、

☆地域で見守る認知症サポートターを増やす為の講座の開催

☆高齢者・障害者地域見守り支援ネットワークの関係機関を増やすこと等

■私は思う

認知症の方にどう接したらよいのか、またはどうすれば気づくのかなど、身近な知識を得る講座や啓発など。

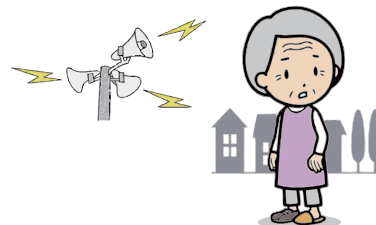
そして、認知症の方を守る為に、次のような名札（アイロンでつけられる）を市として配布できないか提案。

連絡をお願いします!!

氏名 **幸手 一郎**

電話 **0480-XX-XXXX**

住所 **幸手市〇〇丁目〇〇-〇**



ウェルス幸手正面に入って左手に「ふれあいcafeコーナー」が開設!

ちょっとひとこと

権現堂堤の「さくらまつり」



今年は3、4回見に行きました。常設トイレの不具合の際は、平常時間だったのでも、すぐに担当課に連絡し対応していただきました。少しは役に立ったようです。また、こんな気づきもありました。小さい子が「お父さん、ベンチがない」と。なるほど土手から向こう側にはベンチらしきものがない。さくらはいろいろな方が見に来られます。高齢者や障害者を持った方など、お疲れになつてもひと休みするベンチがありません。せめてさくらまつりの期間中は、レンタルのベンチでもよいので、設置していただきたい。

幸手の「おもてなし」の心でお迎えいたしましょう。